



◎表彰状伝達

東北管区警察局長・東北交通安全協会会長連名表彰

【交通安全功労者】

武田 伸一（大玉村）

【優良運転者】

増子利喜雄（本宮市）

交通安全賞章（緑十字銅章）

【交通安全功労者】

小林 守（本宮市）

【優良安全運転管理者】

根本建設（株）本宮支店

門馬 治夫（本宮市）

【優良運転者】

松山 捷成（本宮市）

橋本 広澄（本宮市）

石橋 正彦（本宮市）

県警察本部長・

県交通安全協会会長連名表彰

【交通安全功労者】

根本 長徳（本宮市）

武田 武仁（本宮市）

山本 正（本宮市）

【優良運転者】

桑原 孝法（本宮市）

西村 正博（本宮市）

中野 幸男（本宮市）

渡邊 勝典（大玉村）

三瓶 裕司（本宮市）

【交通安全功労団体】

交通安全協会玉井分会（大玉村）

◎感謝状贈呈

前南達交通安全教育専門員連絡協議会長

長尾 良夫（本宮市）

前本宮市交通安全母の会連合会長

我妻 好子（本宮市）

◎地域別交通事故防止コンクール

第1位

本宮地区交通安全協会第2分会（本宮市）

第2位

本宮地区交通安全協会荒井分会（本宮市）

第3位

本宮地区交通安全協会長屋・稻沢分会（本宮市）

第4位

本宮地区交通安全協会第5分会（本宮市）

第5位

本宮地区交通安全協会第3分会（本宮市）

第6位

本宮地区交通安全協会青田分会（本宮市）

◎交通安全作文コンクール

応募総数553点

【小学生低学年の部】

最優秀賞 本宮まゆみ小学校

優秀賞 岩根小学校

佳作 糠沢小学校

本宮小学校

玉井小学校

1年 本多 結菜

2年 首野 羽菜

3年 中村 凌人

2年 首澤 楓太

1年 國分穂乃花

4年 遠藤 メア

4年 渡邊 空



【中学生の部】

最優秀作文の発表

本宮第二中学校1年 小原月遥さん

佳作 玉井小学校 6年 根本 凛

五百川小学校 6年 齋藤 大虎

白岩小学校 5年 渡邊 司牙

本宮まゆみ小学校 4年 遠藤 凛生

和田小学校 4年 佐藤 優空

【中学生の部】

最優秀賞 本宮第二中学校 1年 小原 月遥

優秀賞 大玉中学校 2年 佐藤 玲那

佳作 本宮第二中学校 3年 松岡 颯馬

本宮第一中学校 2年 渡邊 謙斗

大玉中学校 2年 渡邊 未来翔

【一般の部】

最優秀賞 本宮高等学校 1年 岩崎ひなた

優秀賞 本宮高等学校 1年 加藤 あみ

佳作 本宮高等学校 1年 近藤 公平

本宮市 伊藤 恭子

小学生低学年の部

【最優秀賞】

『おつきいじいちゃんのうんてんしゅ』

本宮まゆみ小学校1年

本多 結菜

私のおつきいじいちゃんは88さいです。

いつもやさしくて、アイスとかり力ちゃんにんぎょうとかをかって

くれます。かいものに行くときは、いつもくるまです。

テレビで、おじいちゃんがうんてんするくるまが、じこをするのを

みました。おとうさんたちが、おつきいじいちゃんをしばいしてい

ました。わたしも、おつきいじいちゃんがくるまででかけて、じこを

していないかだいじょうぶかなとおもいました。だからうんてんをし

てほしくないとおもいました。

みんなでおつきいじいちゃんとおはなしをしました。そして、おつ

きいじいちゃんは、くるまをうんてんしないようになりました。いま

まで、おもちゃとかかかってきてくれるのがたのしみだったけど、もう

もらえないのがさびしいです。だけど、くるまのうんてんをしなくな

ってよかったです。でも、なんだかおつきいじいちゃんは、げんきが

なくて、とてもしんぱいになりました。

わたしは、「わたしがおつきくなったら、おつきいじいちゃんのうん

てんしゅになってあげる。かいものやびょういんに、つれていってあ

げるからげんきだしてね。」と、いいました。とってもよろこんでくれ

ました。よかったです。

いつも、いっしょにあそんでくれるやさしいおつきいじいちゃん、

わたしはだいすきです。わたしが、おつきいじいちゃんのうんてんし

ゅになるまで、いつまでもげんきでまってるね。

小学生高学年の部

【最優秀賞】

『言葉のお守り』

糠沢小学校4年

遠藤 メア

「行ってらっしゃい。気をつけてね。」

朝、家を出て学校へ行く時、放課後遊びに出かける時、家の人がかならず

声をかけてくれます。私は、その一言に元気をもらいます。そして、その一

言は言葉のお守りになっています。

私の家の周りには、信号機や横断歩道がありません。だから、私が小さい

時から、右側を歩くことや、急に飛び出さないこと、車が来ないか、しっか

り左右を確認することを言い聞かされました。私はその約束をずっと守

ってきています。だから、これまで交通事故にも合わずけがなく過ごすこと

ができています。

集団登校では、地域の方々、あなたかく見守ってくださっていることを

感じています。なぜかという、通りすがりの車のドライバーさんが、私た

ちを見つけて、スピードをゆるめてくれたり、近所の方は笑顔でにっこり

あいさつしてくれます。そのおかげで安心して気持ちよく歩くことができま

す。

また、集団登校の班長さんも十一人のメンバーを安全に歩けるように引

ぱってくれるので安心して歩きます。私もいつか班長さんになったら、みんな

の安全を守って登校したいと思います。

さいきん、テレビでは交通事故のニュースがよく流れています。高れい者

の運転のミスや、ルールを守らないあり運転など、たくさん事故で自分

より小さな命がうばわれています。車はいろいろなところに出かけられ

てとても便利ですが、一つ間ちがえればおそろしいことになるのだと思っ

と、とても怖いです。

「もしも、わたしの家族が事故にあったら。」

「私が事故にあったら。」

考えれば考えるほど、不安になります。大切な家族がいなくなってしまう

り、自分の生活がすっかり変わってしまったら、命さえなくなってしまうか

もしれません。想像することで、自分の行動を見つめ直すことが大切だと思

っています。交通ルールとは、たくさんの人々が、気持ちよく生活してい

ためのやくそくです。自分だけのことはかきでなく、相手のことを思いやる

気持ちをおこさない努力をしていくことが必要だと思

います。

「行ってらっしゃい。気をつけてね。」

今日も私は、心にお守りをもらって家を出ます。また、元気に家に帰って

こられるように、お父さん、お母さんからもらったこの大切な命を守るため

に、私はこれからも交通安全に気をつけて生活していきます。

そして、いつか大人になって車を運転するようにになります。いつも歩行者

に気をくばれるようになります。そして、この命のバトンを自分の子ど

もにひきついでいきたいです。